

## 令和8年度 三重大学 高大連携 東紀州講座【高校生を対象とした公開授業】実施要項

### 1 目的等

この講座の目的は、三重大学と木本高校・紀南高校・尾鷲高校・熊野青藍高校との密接な連携のもと、三重大学の教育研究資源を各高生徒へ開放し、理系・文系を問わず、最新の科学的知見を還元することや、学習意欲あふれる進学希望者をより多く確保することにある。また、三重大学のミッションである地域への貢献と地域からの要望がマッチした事業となっている。

なお、各高は本学から遠方のため、本学教員が訪問する実施形式とし、各学部1講座（医学部においては医学科と看護学科でそれぞれ1回）を開講する。

### 2 開講計画

講 座 名 : 東紀州講座（第21回）

受 講 生 : 木本高校・紀南高校・尾鷲高校・熊野青藍高校生徒

実 施 場 所 : 尾鷲高校 〒519-3659 尾鷲市古戸野町3-12 TEL 0597-22-2115

E-mail howasead@mxs.mie-c.ed.jp

熊野青藍高校木本校舎 〒519-4394 熊野市木本町1101-4 TEL 0597-85-3811

E-mail hkimotad@mxs.mie-c.ed.jp

講 習 料 : 徴収しない

修 了 証 書 : 全講座を受講した受講生に授与

### 3 講義日程・開催校・内容等

| 月 日<br>(曜日) | 開催校  | 講 師<br>所属学部     | ≪講 義 題 目≫<br>講 義 内 容                                                                                                                                                             |
|-------------|------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月22日（水）    | 熊野青藍 | 教育学部<br>松本 金矢   | ≪勉強は役に立つのかーSTEAM教育の重要性ー≫<br>進路により、文系・理系と早期にコースを選択し、受験に必要な科目とそうでない科目を分けようとする傾向がありますが、社会人には全ての科目が重要であるということを、実例を通して学びます。                                                           |
| 7月23日（木）    | 熊野青藍 | 生物資源学部<br>内藤 啓貴 | ≪マイクラフトで農業ロボットを作ろう≫<br>農林環境科学コースでは、食料環境に関わる自動化・AI 技術<br>を研究するユニークな学問分野があります。本授業では教育<br>版マイクラフトによる遊びを通じて農業ロボットやAI の開<br>発研究に必要な知識やプログラミングなどのスキルを習得し<br>ましょう。<br>(※マイクラフトのプレイ経験推奨) |

|          |      |                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|----------|------|------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7月24日（金） | 熊野青藍 | 医学部看護学科<br>松岡 真里 | <p>《第1部：あなたの知らない看護職の世界》</p> <p>《第2部：こどもの「こえ」を聴くこと》</p> <p>第1部と第2部、それぞれ違うテーマのようで、実は共通するお話をします。</p> <p>みなさんがイメージする看護職ってどのようなものでしょう？看護職の奥の深さをお伝えします！</p> <p>赤ちゃんは、「痛い！」をどう表現すると思いますか？ことばで表現できない小さなこどもの「こえ」を聴くことをふくめ、看護師の役割について一緒に考えたいと思います。赤ちゃんの心拍数と一緒に測ってみましょう。「心拍数1分間に120回！！」の世界を体験してください。</p> <p>「看護師さんって研究もするの？」「看護ってすごい！？」と感じてもらえるようなお話をしたいと思います。</p> |
| 7月27日（月） | 尾鷲   | 人文学部<br>高尾 善希    | <p>《忍者とは何か》</p> <p>皆さんは、忍者について、漫画・アニメ・小説などのフィクションの忍者のイメージをおもちのことと思います。しかし、忍者は歴史上に実在しています。ただし、史実の忍者は、フィクションのイメージとは一部重なりつつも、多くはかけ離れています。本講座では、史実の忍者について、三重県の伊賀地域に発生した伊賀者を中心に、解説したいと思います。</p>                                                                                                                                                              |
| 7月28日（火） | 尾鷲   | 工学部<br>林田 祐樹     | <p>《生命知能から人工知能へ、そしてライフサポートへ》</p> <p>ヒトを含む脊椎動物は、外界の状況を判断して次の行動を決めたり、新たなものを創造したりする知能を持ちます。近年では、そうした生命の知能を参考に、数学やデータ科学を活かして、人工の知能が開発されています。この講義では、生命と人工の知能を支える共通の仕組みについて説明しつつ、人工知能をヒトのライフサポートへ活かす未来をお話しします。</p>                                                                                                                                            |
| 7月29日（水） | 尾鷲   | 医学部医学科<br>川口 瑛久  | <p>《呼吸器外科からみる医学の世界》</p> <p>私は三重県で育った医師10年目の呼吸器外科医です。肺の病気を手術で治す診療科ですが、知っていますか？この講義では年間死亡率第1位の肺癌について学び、三重大学での最新の手術、さらに医師として働くことや私のこれまでの活動を通じて、医学の面白さに触れていただきます。</p>                                                                                                                                                                                       |

【注】① 講義時間：13時10分～15時00分（講義50分 → 休憩10分 → 講義50分）

② 初日は開講式を、最終日は閉講式（修了証書授与式）を行うものとする。

③ 実習・現場重視の観点から、校外（医療施設）、史跡などでの開講も可とする。

#### 4 天候等の影響におけるオンラインによる開講への変更及び休講基準

- (1) 講義実施日の午前8時の時点で、中部区域（津市）又は紀勢・東紀州区域のうち尾鷲市・紀北町・熊野市・御浜町・紀宝町のいずれかに、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれかが発表された場合は、講義方法をオンラインに変更できるものはオンラインによる開講を行い、対応できない講義は休講とする。
- (2) 講義実施日の午前8時の時点で、中部区域（津市）又は紀勢・東紀州区域の上記市町に、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれも発表されていない場合は、原則開講とするが、午前11時の時点で、紀勢・東紀州区域の上記市町いずれかに、特別警報（大雨・暴風・高潮・波浪の各特別警報）、警報（暴風・大雨、大津波、津波の各警報）のいずれかが発表された場合は、講義方法をオンラインに変更できるものはオンラインによる開講を行い、対応できない講義は休講とする。
- (3) オンラインによる講義への変更及び休講の判断が難しい天候状況やJR線が不通となった場合、開催校と担当講師が相談のうえ、特別警報・警報の有無に関わらず、オンラインによる開講あるいは休講を決定しても構わないものとする。
- (4) 上記(1)～(3)によりがたい場合は、入試チームと各校とで調整を行い、対応を検討するものとする。

#### 5 その他

傷害保険は三重大学で負担する。